

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏 - 1	(2)記載者氏名:	森合 孝信	会員番号:	13758	事務局整理記入欄	地理クラブ - 19
分水嶺区分	E331赤柴山 ~ E3315P1333	(3)山行日:	2006年	5月	4-5日	(4)天候	晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
北野 忠彦	10414	今井 秀正	13787	近藤 善則	12489		
平野 彰	6928	森合 孝信	13758	羽鳥 和江	13496		
半田 明稔	13336			遠山 元信	12378		
西村 智磨子	11955						
計				計			
6名				3名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	赤柴山(E331)から西方の未踏査区間E3315(P1333)までを踏査する。												
アプローチ:	番屋川林道終点												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点E331	赤柴山	栗生沢	139	51	57.9	37	8	50.3	1,616		6:50		(ア), 幕营地
	P1530	栗生沢	139	51	41.4	37	8	31.4	1,517	7:10	7:10	B-4	
	P1504	栗生沢	139	52	5.5	37	8	15.8	1,507	7:30	7:40	B-4	(イ)
	P1427	栗生沢	139	52	45.7	37	8	21.0	1,416	8:20	8:30	B-4	(ウ)
E3315	P1333	栗生沢	139	50	30.4	37	8	11.7	1,328	9:10	9:35	B-4	(エ)
	(ここから引き返す)												
	P1530	栗生沢								12:10	12:35	B-4	
E331	赤柴山	栗生沢								13:10	14:20	B-4	
(テント泊)	P1598 (反射板跡の東方)	那須岳								15:30	7:15	B-4	(オ)
分水嶺離別点E330	P1478番屋のコル(西方)	那須岳								7:30	7:30	B-2	(カ)
歩行終了点	番屋川林道終点									9:25		B-1	(キ)
総歩行時間(休憩時間を除く):												8時間35分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

(エ) 谷に覆われた県界標(標石 横7cm x 奥行7cm x 高さ8cm)が尾根筋に2本見られた。 (No194「N37.8.15.5、E139.50.37.95」、No195「N37.8.20.9、E139.50.48.9」)

(9)水および植生に関連した特記事項

(ア) E331 ~ P1504を下りるまでは、太平洋側に張り出した残雪のうえを歩けたため、時間距離が稼げた。
(ウ) 稜線は太平洋側が切り立ち、背丈ほどのチシマザサの藪が続く。P1427は広葉樹の藪に覆われていた。
(オ) 膝ぐらいの高さのチシマザサが繁茂していた見通しの良いP1598に、2日目のテント場をとった。快適であった。
(カ) 分水嶺から番屋川林道の下りは、急斜面の雪上ルートが少しでも少なくするために、ササヤブに侵略された旧登山道ルートを利用した。道跡は背丈ほどのチシマザサが繁茂していたが切れ目を見つけ下降した。沢との分岐点まで50分で下りられた。
(キ) 林道終点付近の沢との出会う場所にキクザキイチゲが可憐な白い花を付け群生していた。

(10)その他の特記事項

(ア) 1日目は雪上にテント泊、チシマザサを敷き寒さに備えたが、5時起床時のテント内の温度は2.2 であった。 AM6:00に今井隊員が、アマチュア無線で埼玉県上尾市でサポートする遠山隊員と定時交信、439.02MHzの「筑波山レピータ」 経由を試みた。メリット4の出力で交信できた。
(イ) 山頂は一面雪に覆われ真っ白だった。周囲が見渡せ眺望はすばらしい。
(ウ) 日中は気温が上がり、雪の薄いところでは足を踏み抜くことがあった。 藪と雪渓が交じり合ったところを進むため、装着しているアイゼンとピッケルが藪では邪魔になった。 E331赤柴山のテント場に、出発前に飲料用の雪をビニールに入れ木に下げている。 戻ったときに、ほど良く溶けた冷たい水が飲めた。とても美味しかった。 2日目のテント内気温は6.5 であった。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: P1504地点、後方に赤柴山に向かう分水嶺、那須連山が見える。

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



P1504地点、後方に赤柴山に向かう分水嶺、那須連山が見える。